

小田北だより 25号 3月

校長 北垣 裕之 TEL 6499-0005 FAX6499-0010

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J08/index.html>



1年間ありがとうございました

卒業証書授与式終わる いよいよ進級です

3月10日(金)に第67回卒業証書授与式が行われました。162名の卒業生は、9年間の義務教育を修了する卒業式で、緊張しながらも素晴らしい姿を見せてくれました。証書を渡しながら成長した一人ひとりの姿を見ると、自信を持って次のステージへ送り出せると確信しました。整然とした中に暖かいムードがあり、来賓の方々には、卒業生の式典時の姿勢・態度、群読と合唱のすばらしさをほめていただきました。卒業生の歌を聴くと、言葉にできないくらい熱い思いがこみ上げてきました。

立派に卒業式を終え旅立った、3年生の「感謝の言葉」を紹介します。

- ・子育ての大変さを知った 赤ちゃん教室。
- ・部活動 何度も叱られ、心から成長させていただいた。
- ・落ち込んでいるとき、たくさんお友達に支えられた。
- ・共に過ごした日々は、僕たちにとってプラスになるよい時間でした。
- ・進路は違っても、お互い頑張りましょう。
- ・卒業して離れても、一生の友達です。
- ・お父さんお母さん、いろいろ迷惑かけたけど、ありがとう。
- ・悲しいとき、辛いとき、そばにいてくれてありがとう。
- ・これまで頑張れたのも家族の支えのおかげです。
- ・産んでくれて、ありがとう。育ててくれて、ありがとう。
- ・小田北で過ごした3年間は、いつまでも忘れません。
- ・この3年間支えてくださったすべてに感謝します。





在校生として式に臨む1・2年生の態度も立派だったと思います。来年、再来年と送られる立場になる在校生には、いい経験になったと思います。

「別れ」があるからこそ「出会い」があります。人生にとって、「出会い」はとても大切なものです。その人がどんな人に出会い、どんな影響を受けるかで人生は大きく変わってきます。その相手は、友だちであったり先生であったり地域の大人であったりと様々です。これまで「出会い」によって、悩んでいたとき、挫折したとき、どれだけ救われてきたことでしょうか。また、生きる喜びを教えられてきたでしょうか。君たちは「出会い」の場としての学校生活を大事に過ごしてください。

これからは、1・2年生みなさんが小田北中の中心となり伝統を引き継いでいきます。2年生のみなさん、1年後はどうなっているでしょうか。これからの学校生活をどのように送るかが、みなさんの将来にとっても大切です。1年生のみなさん、もう少しすれば、新入生を迎えることになります。ちょうど1年前、期待と不安が入り交じった気持ちで、入学したことを思い出して下さい。進んで、新入生のお世話をして下さい。

“ 根を養えば、樹は自ずから育つ ”

本年度も、24日の修了式を残すのみとなりました。巣立っていった3年生の良き面を引き継ぎ、振り返るなかで、次の学年に向けて準備を欲しいと思います。平成29年度の1年間が充実しますよう、日々努力を続けましょう。小田北中の生徒の頑張りを応援しています。

【保護者・地域の皆様へ】

平成28年度の学校だよりも今号で最終となりました。保護者や地域の皆様には、1年間本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。4月新入生を迎えて、小田北中学校がスタートします。これまで以上に、地域から愛される学校目指して頑張りますので、変わらぬご支援よろしくお願ひします。